

- 問1 江戸時代に、極端な動物愛護を命じた徳川綱吉は何代目の将軍？
- 問2 江戸時代に農民が年貢の減免などを求めて起こした反乱を何という？
- 問3 大塩平八郎がかつて勤めていた、江戸時代の大坂において行政や裁判を担当していた役所を何という？
- 問4 江戸時代、将軍から領地を与えられ、その領地を支配した武士の階級を何という？
- 問5 江戸時代中期の元禄文化において、上方を中心に町人文化の担い手として活躍した人物は誰？
- 問6 江戸幕府が大名を分類した際、徳川氏の一族にあたる大名を何という？
- 問7 17世紀初めに京都で「かぶき踊り」を始め、歌舞伎の起源となった人物は誰？
- 問8 伊能忠敬の測量によって作成された、日本初の正確な全国地図を何という？
- 問9 マニュファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？
- 問10 江戸幕府が1639年に禁じ、南蛮貿易を終結させる決定打となった行為を何という？
- 問11 『東海道五十三次』などの優れた風景画を残した、江戸時代の浮世絵師は誰？
- 問12 18世紀末、フランス革命によって市民が打破しようとした、国王が絶対的な権力を持つ政治体制を何という？
- 問13 江戸時代後期に水野忠邦が主導し、商人の株仲間を解散させるなど物価の安定を試みた幕政改革を何という？
- 問14 中山道が東海道と異なり、海沿いではなく山側を通る場所を指す言葉は何か？
- 問15 江戸幕府が実施した、樺太や間宮海峡の地理的状況を明らかにするための調査を何という？
- 問16 江戸時代の幕藩体制において、将軍から領地を与えられ、その地を支配していた武士の身分を何という？
- 問17 江戸時代、全国の商業と物流の中心地として栄え、「天下の台所」と呼ばれた都市はどこ？
- 問18 薩摩藩が支配し、その特産品である黒砂糖の利益を得て藩の財政を支えた国を何という？
- 問19 江戸時代後期に三十五年以上の歳月をかけて、古事記の注釈書を完成させた国学者は誰？
- 問20 寛政の改革を行い、農村復興などを進めた老中は誰？
- 問21 江戸時代、米の価格高騰に苦しんだ都市の民衆が、商人や米屋を襲った暴動を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 5代将軍	第5代将軍・徳川綱吉は、儒教を尊び、文治政治を強力に押し進めました。その政策の一つとして出された「生類憐みの令」は、極端な動物愛護を強制するもので、庶民から武士に至るまで厳しい制限が課されました。
問2	答え 百姓一揆	飢饉や重税に対して、村単位や地域単位で結束して直訴や強訴を行う行為です。単なる暴動ではなく、農民が自らの権利を守るための切実な手段でした。
問3	答え 大坂町奉行所	大坂町奉行所には、江戸から派遣された奉行が置かれ、町方の行政や治安維持、裁判を行っていました。大塩平八郎はこの役所で与力という中級役人を務めており、陽明学に精通し、高い正義感を持っていたことで知られています。
問4	答え 大名	大名は1万石以上の知行高を持つ武士の呼称です。自領内での行政や徴税を行う権利を持っていましたが、幕府から厳しい監視を受けました。参勤交代や様々な法令によってその経済力や武力を抑えられ、幕府の権威が盤石なものとなりました。
問5	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、特に人形浄瑠璃の脚本で名声を博しました。義理と人情の板挟みになる庶民の心情を鮮やかに描き出し、人々の共感を呼びました。代表作には『曾根崎心中』などがあります。
問6	答え 親藩	分類は「親藩」「譜代」「外様」の三つです。親藩は徳川家康の子たちが開いた藩（水戸・尾張・紀伊の御三家など）を指します。彼らは家格が高く、将軍に万が一のことがあった際に後継者を出す重要な役割を担っていました。
問7	答え 出雲の阿国	出雲の阿国は、奇抜な衣装や派手な動きを取り入れた「かぶき踊り」を京都で披露し、爆発的な人気を博しました。これが次第に男性による演劇へと変化し、現在の歌舞伎の原型となりました。
問8	答え 大日本沿海輿地全図	伊能忠敬が足かけ17年をかけて日本全国を歩き、天体観測と距離測定を行って作成した地図です。それまでの地図とは比較にならないほど海岸線や山河の位置が正確で、現代の地図と比較しても大きな誤差がない驚異的な精度でした。
問9	答え 分業	マニュファクチュア（工場制手工業）では、資本家が工場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問10	答え ポルトガル船の来航	1637年の島原・天草一揆を経て、幕府はキリスト教を厳しく弾圧しました。その一環として、キリスト教を広めるポルトガル船の来航を禁止し、1639年に南蛮貿易を完全に終結させました。
問11	答え 葛飾北斎	葛飾北斎が『富嶽三十六景』で富士山を題材にしたのに対し、歌川広重は『東海道五十三次』で、宿場町と旅人の情緒的な風景を繊細に描き出しました。彼らの作品は、ただの記録ではなく、芸術的な視点から風景を捉えたものとして評価されています。
問12	答え 絶対王政	国王が法律や軍事のすべてを決める権限を持っていたため、一部の王族や貴族だけが贅沢をし、市民や農民には重い税金が課されました。18世紀末のフランスでは、この不平等な社会に限界を感じた市民が立ち上がり、自由と平等を求めて革命を起こしました。
問13	答え 天保の改革	老中水野忠邦は、物価抑制策として株仲間を解散させ、流通を自由にしようとした。また、江戸の人口を減らすための人返しの法や、奢侈を禁じる儉約令などを出しました。
問14	答え 内陸	中山道は東海道と異なり、海を避けて山岳地帯を進む経路として整備されました。現在の群馬県から長野県にかけての碓氷峠のような険しい山道が含まれていたため、「内陸」の街道として知られています。
問15	答え 北方探査	幕府の命を受けた間宮林蔵は、樺太が島であることを発見し、大陸との間の海峡（のちに間宮海峡と命名）を確認しました。この成果により、北方の海図や地理知識が飛躍的に向上しました。
問16	答え 大名	大名は、将軍から1万石以上の領地を拝領し、そこで行政や裁判、年貢の徴収を行う領主です。大名は家臣を従え、自分の領地である「藩」を治める一方で、江戸と領地を往復する「参勤交代」を行う義務を負っていました。これにより、幕府は全国の武士を強力に統制していました。
問17	答え 大阪	大阪は、諸藩が年貢米や特産品を販売する「蔵屋敷」が数多く設置された場所であり、全国の米や商品がここに集結しました。ここから江戸などへ物資が送られたため、全国の商業と物流の拠点となり「天下の台所」と呼ばれました。また、金銀の交換や為替などの金融機能も非常に発展していました。
問18	答え 琉球王国	薩摩藩は琉球王国を支配し、甘蔗（サトウキビ）の栽培を奨励して、加工された「黒砂糖」を独占的に販売することで巨額の利益を得ました。この経済的な圧迫は、琉球の社会や暮らしに大きな影響を及ぼしました。
問19	答え 本居宣長	本居宣長は、三重県の松阪を中心に活動し、三十五年以上の歳月をかけて『古事記伝』を著しました。彼は古事記を読み解くことで、日本人の心のあり方や古来の知恵を明らかにしようとした。
問20	答え 松平定信	松平定信は、老中として「寛政の改革」を実施しました。彼は、飢饉で荒廃した農村に農民を戻す「旧里帰農令」を出したり、窮民を救うための備蓄制度を整えたりと、社会不安の解消を図りました。質素倹約を奨励し、厳しい規律のなかで政治の刷新を目指しました。
問21	答え 打ちこわし	怒った民衆は、米を買い占めている疑いのある豪商や米屋の家を破壊し、米の安売りを強要する「打ちこわし」を行いました。これは一種の社会的な抵抗運動でした。